



# 大和中ロータリークラブ会報

LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で道を照らそう  
R.I 会長 James L. Bomar Jr.

第 64 回 例会 1979年 9月 27日 (木) 第69号

出席報告

| 会員数                | 出席数 | 出席率    | 前回の修正  |
|--------------------|-----|--------|--------|
| 28名                | 25名 | 89.25% | 96.36% |
| 欠席者<br>袴田, 長谷川, 木崎 |     |        |        |

芦田会長テーマ 友愛と協調

司会 芦田会長  
ソングリーダー 辻 国明君

「我等の生業」「線路は続くよ」

## ゲスト

小堀憲助氏

## ビジター

比佐久馬君(横浜瀬谷), 甲斐田豊君(綾瀬),  
永見和久君, 野島幸雄君(座間), 星幸男, 吉利  
正勝君(大和)

## 会長報告

- ・アジア大会出席の皆さん, ご苦労様でした。全員元気に帰国されたことを嬉しく思っています。またバーナー交換をして頂き有難うご座居ました。
- ・チャーターIAN花巻RCの佐々木さん, 292回を達成なされ, 又クラブ25周年記念に表彰されたとのこと案内が来ております。

## 幹事報告

- ・東京新宿ロータリークラブの認証状伝達式のご案内が参って居ります。出来得る方は, ご出席お願い申し上げます。

日時 昭和54年12月1日(土) 10:30 AM受付開始  
会場 京王プラザホテル

- ・能楽観賞の集いのご案内が, 参って居ります。当クラブの方は特別に無料です。観賞御希望の方親睦委員長中西さんに申し込んで下さい。

日時 昭和54年11月4日(日)1:30 PM  
会場 大和学園体育館

- ・例会後臨時理事役員会を開催します。

## 委員会報告

ロータリー情報委員会 藤田委員長

第2回炉辺会合 10月11日(木)午後6時30分日本  
トラックKK(蜂屋会員)会議室にて行います。

|          |   |
|----------|---|
| 本日のプログラム | 10月4日 大和市内立病院<br>「パラグアイの医療情勢について」建野正毅外科医長 |
| 次週予定     | 10月18日<br>「職業奉仕週間にあたり」鈴木克也氏               |

1. 真実かどうか  
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか  
4. みんなのためになるかどうか

事務所 : 大和中央1-5-40  
及び 大和市商工会館内  
例会場 電話0462(63)7926

例会日 : 毎週木曜日12時30分より  
会長 : 芦田 敬治 副会長 : 佐藤 実  
幹事 : 北砂 富三 会報委員 : 上田・竹之内・郡司

## 職業分類委員会 猪熊委員長

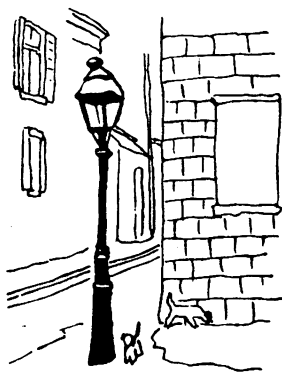
次の3業種の追加が理事会において承認されました、①プレス機械製造 ②特定郵便局 ③上下水道工事。

## 親睦活動委員会 中西委員長

- 本日のお祝い 創業記念日 富沢重徳君(10月3日)。
- 12月27日3クラブ合同 小委員会をつくり活動したいと思っています。次の方々のご協力をお願いいたします。(土屋, 猪熊, 近藤, 有沢, 布施, 中西, 保田各会員)。

## アジア大会に出席して 寺田会員

私達大和中のクラブ5名は大和クラブ10名の方々と一緒にアジア大会に出席し、それぞれの務めを果たして参りました。大和クラブと姉妹クラブである仁川RCの方々には特に心からのお世話を頂き楽しく過ごさせて頂きましたこと感謝しております。なお詳しいことは改めてお話し申し上げることとし一言お礼を申し述べさせて頂きます。有難うご座居ました。



## 卓話

「ロータリーとは」

ゲストスピーカー 小堀憲助氏(川崎北RC)

紹介 芦田会長

私から申し上げるまでもなく小堀先生は立派なロータリーアンであると同時にロータリー学について大変に学識の深い方でいらっしゃいます。今年度はロータリーの理論概念について、6回にわたって卓話を頂けることになりました。先生にはお忙しい所をわざわざ大和までお出掛け下さいましたこと会員一同感謝しております。

### 小堀憲助氏

先般お邪魔したおりにロータリーのかい摘んだお話をいたしましたところ、今度は1時間ごと6回にわたって少し纏まった卓話をして欲しいとのご依頼を頂きました。本日メイキャップなされた方は大変お気の毒で、2時まで身柄を拘束されたという法律上の問題も一点ご座居ますが、それは兎も角といたしまして私の話しが多少なりとも得る所がご座いますればそのままお残り頂き、お仕事のご都合がある方は1時30分にお帰り頂くということで話しを進めさせて頂きます。

6回のうち最初の1回はロータリーの歴史について申し述べたいと思っております。1905年から1927年にかけていろいろの事がありました、その辺の事を理解しておりませんと今日のロータリアンがロータリー運動に問題意識を持って参加出来ないと思います。

2回目は日本のロータリーの歴史、特に戦前のRCと戦後のRCとを比較して参りたいと思えます。勿論両者の間には一長一短それぞれあるのですが、戦前のロータリーのよい点を学び取って頂きたい、そういう事を踏まえた上でお話しを致します。

R.I.の決議によりましてロータリーは全世界における一業一会員制をもって選ばれた少数の人々の団体であります。そして一つの職業から一人しか加入出来ないのごく少数の一握りの職業人の親睦クラブという事になります。これが他の団体

では果たすことの出来ない社会改良のエネルギーを放出することを期待されている団体なのであります。その為には我々は初期ロータリアンの試行錯誤の世界に戻ってどうしてその様な事が哲学的にまた原理的に可能になったのかを考えるべき事だと思えます。

1923までに初期のロータリアン達は基礎的な問題点をしっかりと踏えた上でRCを運動体として構成するようになったのです。そしてこの運動体を全世界に広めて行くに当ってクラブの内部との相関をどのようにしたらよいかについて考えたわけでありまして。内部での自分達の親睦活動のエネルギーを備え、これを一つの奉仕の活動力の場、これを一つの概念でまとめクラブ奉仕と名付けたのであります。

1927年以前のロータリアンはクラブ奉仕などという言葉は持っておりませんが彼らは親睦と呼んでいたのです。仲よくする事でどうして社会改良のエネルギーになるのでしょうか。

このエネルギーは単に会員の数が多ければよいと云うものではありません。良質なら小さな団体であってもよいのです。ご自分の企業を考へてご覧なさい、大きければよいという物ではない筈です、良質な企業管理が出来るならば小さい方がよいのです。

自分の職業的社会生活を管理していく場合にロータリーの世のため人のための考え方は自分の企業に対してどういう型で結晶化されていくのでありましょか。それについては職業奉仕の時にお話しを致しませう。

クラブ奉仕には情報委員会だとかプログラム委員会だとか、いろいろの委員会が出来ておりますがそれ等を総括する目的でクラブ奉仕担当理事が生れたのが1927であったのです。こうして内部が固まって参りますと必然的に目をクラブの外に向けようになり地域社会から更には外国の活動へと発展していったのです。

ロータリアンは自分が管理者になっています。職業的社会の管理者としての思考を通じ合った仲間間の親睦活動によって得られたものを1つの心の

泉として職業的社会生活万般を明るくして行くという奉仕の実践活動を1927年職業奉仕という名称でしめくくったのです。職業奉仕こそはロータリーのロータリーたる所以でありまして、この所が理解出来ますと誇りを持って地域社会に対して働き掛けが出来るようになると思えます。

しかし残念なことに最近では職業奉仕、職業奉仕とさわいでいるのに実はその本質を見失ってしまっているように思えてならないのです。ここにRCの衰退現象を見ることが出来るのでありまして、これは重要ですので第6回の卓話の時間にお話し申し上げます。そしてこれとは関係のない自分の家庭とか地元の地域社会に対する活動は社会奉仕として包含され1927年クラブ内に社会奉仕委員会が誕生したのであります、これについては第4回の時にふれたいと思えます。

一方、外国での奉仕活動を国際奉仕と呼んでおりますが外部的な実践と内部的な親睦、すなわち親睦のエネルギーが外に対して社会的に世のため人のためになる、この理念が出来たのが1910年頃でしたでしょうか、まだその頃には社会奉仕として認識されていたのですが、1919年頃になって国際奉仕と呼称するようになったのです、これにつきまして第5回目と致しませう。

3Hプログラムとか75周年記念とかアメリカ系RCでは盛んに立案されていますが、現在イギリス・スウェーデン等のヨーロッパ系RCでは、よりロータリーの真髄を求めようとの気運が強くなってきております。ロータリーの本願は何処にあるのかを見極めて協力するのか、しないのか、或いは一部協力するのか、こういう所をクラブの理事会が主体性をもって決定して行くところにロータリーの素晴らしさがあるのです。日本のRCはアムションロータリーと私は呼んでいるのでありまして、長いものには巻かれよ式のものであっては断じていけないのであります。この様なことは戦前のロータリアンはおやりにならなかつた事であり、この問題に関しまして第2回目の時間に取り上げてみたいと思っております。

先程、花巻クラブの佐々木さんのお話しが出て

おりましたので少し述べさせていただきますと、実はチャーターリアンとしては2代目なのです。初代は今治RCの飯氏が200回以上の記録を持っておられたのです。現在存命の方では佐々木さん一人でありしばらくは独走体勢であろうと思えます。チャーターリアンを目指す。何がそうさせるのでありましょうか。佐々木さんは東北地方では優れた有識のあるロータリアンでいらっしゃる。そこに意識があるのです。只チャーターナイトを駆け巡った所で何んの意味がありましょうや。

ところで戦後のロータリアンのなかにはロータリーアリガタ野郎が大勢います。ロータリーのバッジを付けると何にが何んだか分からないが無闇に有難がっている人がいます。この会場にも何人かはそういう人がいるかも知れませんが、これは好い加減でやめて頂きたい。是非何が有難いかを追求して欲しいのです。ロータリーは現在栄えています。或るロータリアンが倒産したといたしましう。友人として助けなければいけない、これこそ職業奉仕ではないかなどと馬鹿なことを云う人もいますが、ロータリーは人間の行う自由競走の功徳を否定するものではないのです。皆がフェアに競走して行く、だからこそ良質の思考が展開されていくのです。反面破れる者は必ず出て来るのです。ロータリアンといえども例外ではないのです。只ロータリーの奉仕哲学はその自由競走の最中であって競走の圏外に立ち総ての人達が同じ思考を持ちさえすれば、ままた人間はそうは行かないのでありまして自分よがりになって走って失敗してしまうのですが、ロータリーの良質な思考を持続させさえすれば自由競走の場でも平和共存が可能であることを見出すことでしょう。なる程世のため人のためという事ではあります。先づ第1に自分の実力を涵養させる運動であってよいのです。たゞその際に他社(他人)を排除しない、これが大事な事なのです、これ即ち人類不変の理念であります。

R.I.の会長として最も秀れた方はニューゼラ  
ズランド オースチーRCのハロルドT トーマスで

あります。偉大なロータリアンであったことは申すまでもありません。その著書ロータリーモザイクは大変立派な本です。松本兼二郎さんがお訳しになっておられますので皆さん是非ご一読下さい。その著書のなかで **1923** 年現在、初期ロータリアンが開発したロータリーの奉仕哲学について、これは私、小堀が違った角度から得られた文献的考察とよく一致しており大変嬉しく思っているところなのですが、ロータリーを通じて地域社会をうるおし、地域社会の人達から尊敬と信頼をもって迎えられたが由に、ロータリー運動は世界中においてずうと発展して来たのです。

地域社会への運動体の拠点のことを我々はロータリー、クラブと呼んでいるのです。大和中クラブが結成されチャーターナイトが出来たといって喜んでいるのは、別の意味でオメデタイ話です。何も祝うべきものは無いのであります。皆さんがクラブ内の親睦のエネルギーをもとにして、他の団体が果すことの出来ない世のため人のために尽し得た時にこそ価値があるのです。何んで他の団体が無し得ないのであろうか、この所をよく頭にたたき込んでおいて下さい。

理論から掘り起こしていきますと大変ややこしくなりますので実戦論から眺めてみましょう。

**1905**年ポール・ハリスが3人の友人と語り合ってロータリーが始まった経緯は申すまでもありませんが、彼らは3人とも田舎の職業人であったのです。人間はもとより相より相たすけ合って生きて来たであろうのに、シカゴの町には物質的なものは氾濫していたのに心の拠り所となるものは無く、特に職業人の間では酷い状態にあったのです。

教会に救いを求めたのですが教会が既に物流機構の流れにのまれてしまっていたのです。キリスト教には責任はご座居ませんが、これに失望したポールは自分でやらなければと思つたのでした。

何にはともあれ一つの職業から一人を選べば職業上の競走のやな問題で悩まされることもないので、そして皆で親戚付き合いをしようぜというのがロータリーの起りであったのです。お互の仲間同

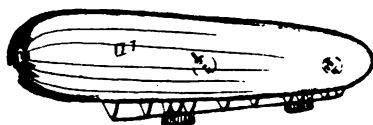
志の取引きは原価で行われていたようであります。お互に儲けることなしに先づ物質的な事で助け合い、それから自然に精神面に及ぶことがよろしいのです。企業がどうもうまくないと云う時に初期ロータリアンはこれを行って互に栄えたのです。成る程シカゴにRCは誕生したのですが、皆な大した経歴もなく社会的には全く無視されていたのです。今でこそ拡大拡大と騒いでいますが初期のRCはそれどころではありませんでした。自分達は何も持っていない、しかし真面目さだけはある。そして仕事に真面目な人間だけを集めようという事になったのであります。企業がおかしくなった時に相談し合えば、皆それぞれに苦勞した企業人の集まりですから自然よい智恵も授かるというものです。

ロータリーが栄えた1つに有能なBankerが参加したからだといわれています。戦前のロータリアンには傑物が少なくなかったようです。当時北海道拓殖銀行頭取をやっておられ、大パストガバナでいらした島本さんのお話しです。サッポロRCのある会員が金に困って日頃のクラブ仲間の誼しみに免じて3,000万円ばかり借して欲しいと島本さんのところに頼みに来たのでした。これを聞いて島本さんギラリとニランでお断りしますと一喝してしまったのです。何んだい！ロータリーの友情は何処えいったんだい！すると島本さん……友情友情なんてつまらないこと考えてはいけぬ、私が断るには理由があつてのことだ、貴兄は私と同じクラブのメンバーだが末だかつてロータリーの為に身を張って仕事をした事実が無いではないか、一つの事を真面目にやれない様な人間に何んでお金を貸すことが出来ますか と。叱られたロータリアンはそれから一生懸命にロータリーのことに励んだのです。そして同時にその企業も立派に立ち直ったのです。翻って一昨年のお話し……やはり拓銀の頭取りの所にあるロータリアンが一寸3億円ばかり用立てて欲しいとお願いに行った所、今度の頭取りさんも断ってしまったのです。貴方はロータリーばかりやっているからです と。ロータリーと日常生活をピタリと

合わせるようにすれば企業をおろそかにする事はないでしょう。でも世の中にはロータリー運動に憂き身をやっしている奴、ここでいえば特別代表の星先生とか、この会長さんなんか、ロタキチという所でしょうか。ロータリーにはそれなりの功德があります、皆さんクラブで親睦シンボクと云いますが、自分の企業が危ない時、何処がいけないのか、相談を持ち込める程度の友情が出来ているでしょうか。同僚のロータリアンの機密を守ってその人の立場になって話し合うことが出来るでしょうか。……これが初期ロータリアンの原点だったのです。小さかった企業も大きくなり従業員も増え資本金も増加してくれば、そんなメンバーの集りともなれば外部の人達から仲間にして呉れないかといつて来るようになる筈です。このような雰囲気を作って欲しいと思うのです。

1910年頃になりますとシカゴクラブも大きくなり権威も上って参りました。一業種一人制ですから唯でも入会する訳にはいきません、反対の見方をすれば、一握りの職業人のエゴの集団としてみられる可能性が出て来たのです。初期のロータリアンは皆、真面目ですからそれは困ったことだと考えだしたのです。一業一会員制はよいとしてそしてお互に助け合うのも結構だが、外に向つて我々の親睦のエネルギーを世のため人のための活動にしようではないか。これが今日ロータリーが掲げている奉仕という課題なのです。シカゴクラブの人達はいろいろな事をやったのです。同業者、困った人達を機う運動、傷病兵を慰問するなど地域社会のために働いたのです。やがてRCは自分達だけのことしか考えないクラブでは無いということが知れ渡つてきたのです。当時は現代ほどに福祉事業がシステム化していなかった時代でしたからそれなりに評価されたのも事実でしょう。今仮りに当地区の福祉の財源を算定してみますと約5億円の経費が必要となります。皆さんのクラブでは年間80万を集めるとかで、この会員数にしては立派で若しかすると日本一かも知れませんが5億に80万では焼石であつて水をつけるところまでにも至っておりません。地域に対しての

支援もやらなければなりません、施しを与えるという感じが残らないように行う事はむづかしい事です。そしてそれをやったからといってロータリーのロータリーたる所以に即した行動にはならないのであります。しからばロータリーのロータリーたる所以とは何でありましょうか。時間が参りましたので次回のお楽しみといたしましょう。



## スマイルBOX

横浜瀬谷RC 比佐会員 はじめておうかがい致します。おとなりの瀬谷から参りました。これからも宜しく願い致します。

綾瀬RC 甲斐田会員 又、おじゃま致します。今後共よろしく願います。

座間RC 永見会員 久しぶりにおじゃましましたので。

座間RC 野島会員 しばらく、御無沙汰しましたので

大和RC 星会員 当初のお約束通り、会長、幹事及び会員の皆様に恥じどころか、奉仕に親睦に大活やくされたこと、ここに報告いたします。

北砂会員 アジャ大会へ当クラブより5名参加されましたが、ご無事で皆様お帰りになり、なによりです。又、今日からウルサクな

なりそう——。

石渡会員 アジア大会出席おつかれさまでした。

伊藤英会員 アジア地域大会出席の皆様の顔さがにすがすがしく元気でなによりです。このうれしさを5名の皆様にスマイル致します。

亀谷会員 星先生本日は大変御世話様になりました。おかげ様でたすかりました。

亀谷会員 アジア大会出席の皆様御苦労様でした

佐藤会員 アジア大会出席ごくろうさまでした。

郡司。土屋会員 アジア地域大会に参加された皆さん、初期の目的を立派!!に果され、大きな成果?を持ってご帰国されました事、お慶び申し上げます。銭別差し上げないのにおみやげありがとうございます。

蜂屋会員 アジア地区大会出席の5名の会員の皆様御苦労様でした。後でゆっくり韓国のソウルの御話を聞せて下さい。

芦田会員 アジア大会出席の皆様、御苦労様でした。無事、お帰り何よりでした。初の国際的な大会で得るところも多かったと思いますが、今後のロータリー活動に充分生かして下さいをお願いします。

富沢。保田。竹之内。寺田。辻会員 我々アジア大会の任務を無事果し、元気よく帰ってまいりました。詳細については、後日ご報告させていただきます。

中西会員 上田先生娘が御世話になりました。御休みの所、申訳ございませんでした。もうすでに元気にさわいでおります。有難うございました。

伊藤(正)会員 家内の誕生日が9月25日でした。お祝いを頂く日に欠席して相済みませんでした。

富沢会員 創業記念の御祝をありがとうございます。只今当社は順調に推移して居ります。